

平成23年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

1目 河川総務費

河川課 (内線: 7386)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 地震津波対策事業 [単県公共事業]	0	38,700	38,700				38,700	
トータルコスト	0	39,499	39,499	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	設計積算、入札・契約の締結、監督				
工程表の政策目標 (指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

東北地方太平洋沖地震で発生した想定を上回る大規模な津波被害を契機に、鳥取県では、新たな津波想定と、これに基づく地域防災計画の見直しに着手した。津波想定の見直しに併せ、新たな被害想定や避難対策の基礎資料となる津波河川遡上浸水予測図を作成 (一部見直し) し、避難計画の策定をはじめとしたソフト及びハード対策に活用する。

2 主な事業内容

○地震津波の河川遡上浸水予測図作成 (蒲生川他17河川) 38,700千円

	河川数	河川名	備考
対象河川	9	蒲生川、塩見川、湖山川、河内川、勝部川 (日置川)、橋津川、由良川、宇田川、佐陀川	H17 対象河川
	2	袋川、法勝寺川	H23 追加河川 (国管理)
	7	吉田川、野坂川、浜村川、永江川、洗川、八橋川、加茂新川	H23 追加河川 (県管理)
計	18	-	-

3 これまでの取組状況、改善点

○ 現在の津波想定は、平成16年度に危機管理局が「鳥取県地震防災調査研究報告書」を以下のとおり取りまとめ、これを基に地域防災計画を策定。

(1) 津波想定 (予測結果)

- ・震源モデル: 気象庁の量的津波予報に対応する波源モデル (日本海沖の3箇所)
- ・規模: マグニチュード7.4
- ・沿岸における最高水位: 2.1m

(2) 津波河川遡上浸水予測 (平成17年度)

- ・(1)の予測結果に基づき、直轄4河川及び県管理9河川の津波遡上予測を実施。

○ 現在、危機管理局が検討委員会を設立し、最新の知見に基づく新たな波源の設定と想定津波高の見直しを実施中。

○ 東北地方太平洋沖地震による津波の河川遡上被災状況等を鑑み、人家の有無等の視点で対象河川を選定し、平成17年度実施した9河川に新たに9河川を追加した18河川とする。

河川課 合計	6,777,008	38,700	6,815,708	0	0	0	38,700	
--------	-----------	--------	-----------	---	---	---	--------	--